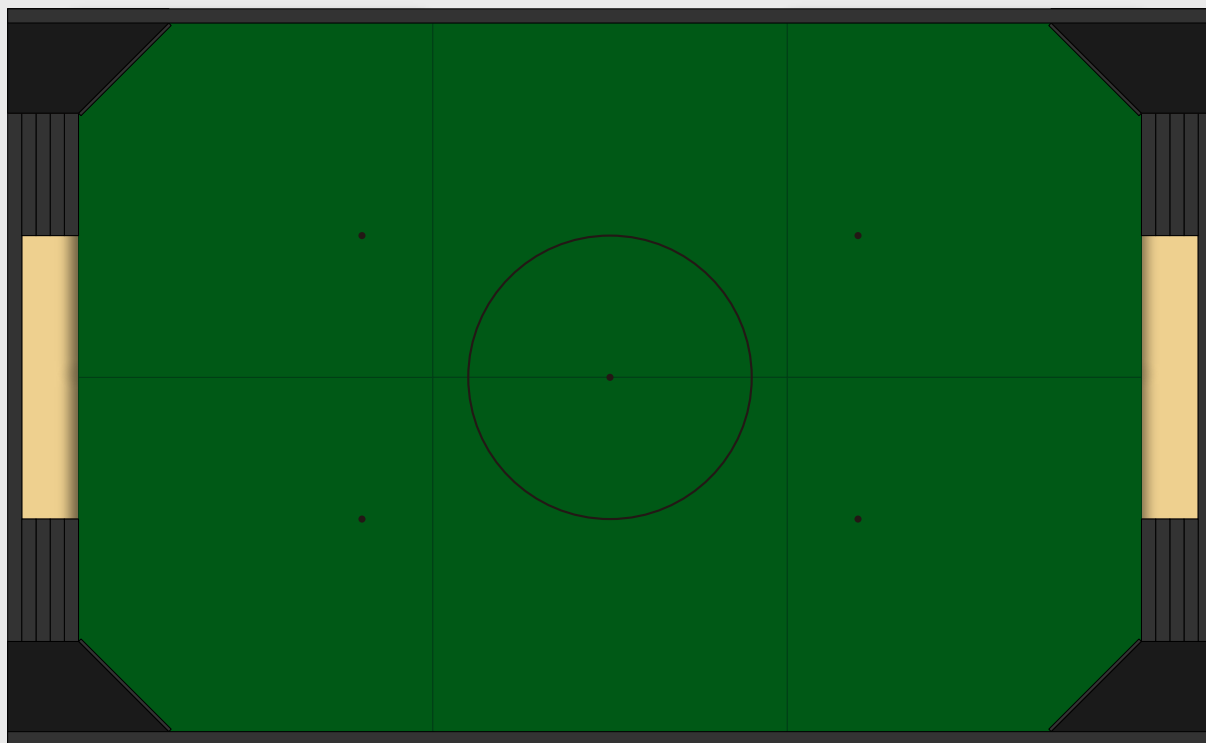


Soccer Challenge 大阪大会2025ルール

フィールド上で対峙する2台のロボットが、それぞれ相手のゴールを目指しボールを運ぶ『サッカー』に見立てた競技です。対戦相手のゴールにボールを入れることで得点とし、競技時間内における累積得点により勝敗を決します。



● 募集要項

- ・小学生の部／中学生の部／高校生の部
- ・2～4人のチームで1チームとします。
- ・ロボカップジュニア公式のサッカー競技に、参加経験のないメンバーのみでチームを構成します。

● 競技ルール

- ・競技には完全自律型ロボットを使用してください。(コントローラーなどの遠隔操作は不可)
- ・ロボットにはセンサーおよびプロセッサをいくつ使用しても構いません。
- ・ロボットは2輪駆動とします。(補助輪等に制限はないが、駆動が許可されるのは2輪のみとします)
- ・ロボットの寸法は、20cm x 20cm x 20cm以内とします。
- ・ロボットの重量は、1.5kg以下とします。
- ・競技には『赤外線発光ボール』を使用します。(https://www.daisen-netstore.com/shopdetail/000000000128/)
- ・1回のプレイ時間は5分です。
- ・コイントスでキックオフ権を決定し、キックオフ権を得たチームがフィールド内センターサークルの内側にロボットを置きます。もう一方のチームはセンターサークルの外側にロボットを置きます。(ロボットの向きは問わない) 開始点にボールを置き、審判の合図と同時にロボットを始動します。
- ・得点が発生した際は、得点されたチームがキックオフ権を得て、ロボットを開始位置に置きプレイを再開します。
- ・1度プレイが開始すると、得点が発生するまで(または審判がプレイを止めるまで)はロボットに触れてはいけません。
- ・両ロボットがボールを追いかけない状態が10秒間続いた場合、また審判が必要と判断した場合は、審判がボールをロボットの近くの中立点に移動します。それでもロボットがボールを追わない場合は一度プレイを止め、ボールを開始点に戻して両ロボットをセンターサークルの外側において再スタートします。

● 禁止事項

- ・鋭い刃やハンマーなど、対戦相手のロボットや審判およびフィールドを傷つけるような装置の搭載。
- ・赤外線を照射するなど、対戦相手のロボットの赤外線センサーを妨害するような装置の搭載。
- ・物質の状態(固体/液体/気体)に関わらず、対戦相手のロボットに浴びせるような装置の搭載。
- ・対戦相手のロボットを捕らえることを意図する装置の搭載。
- ・粘着性物質をロボット表面に露出した装置の搭載。

● チェックイン(車検)

ロボットの大きさが規定サイズ(寸法 20cm x 20cm x 20cm以内／重量1.5kg以下)を超えていないかどうか、競技開始前に確認します。

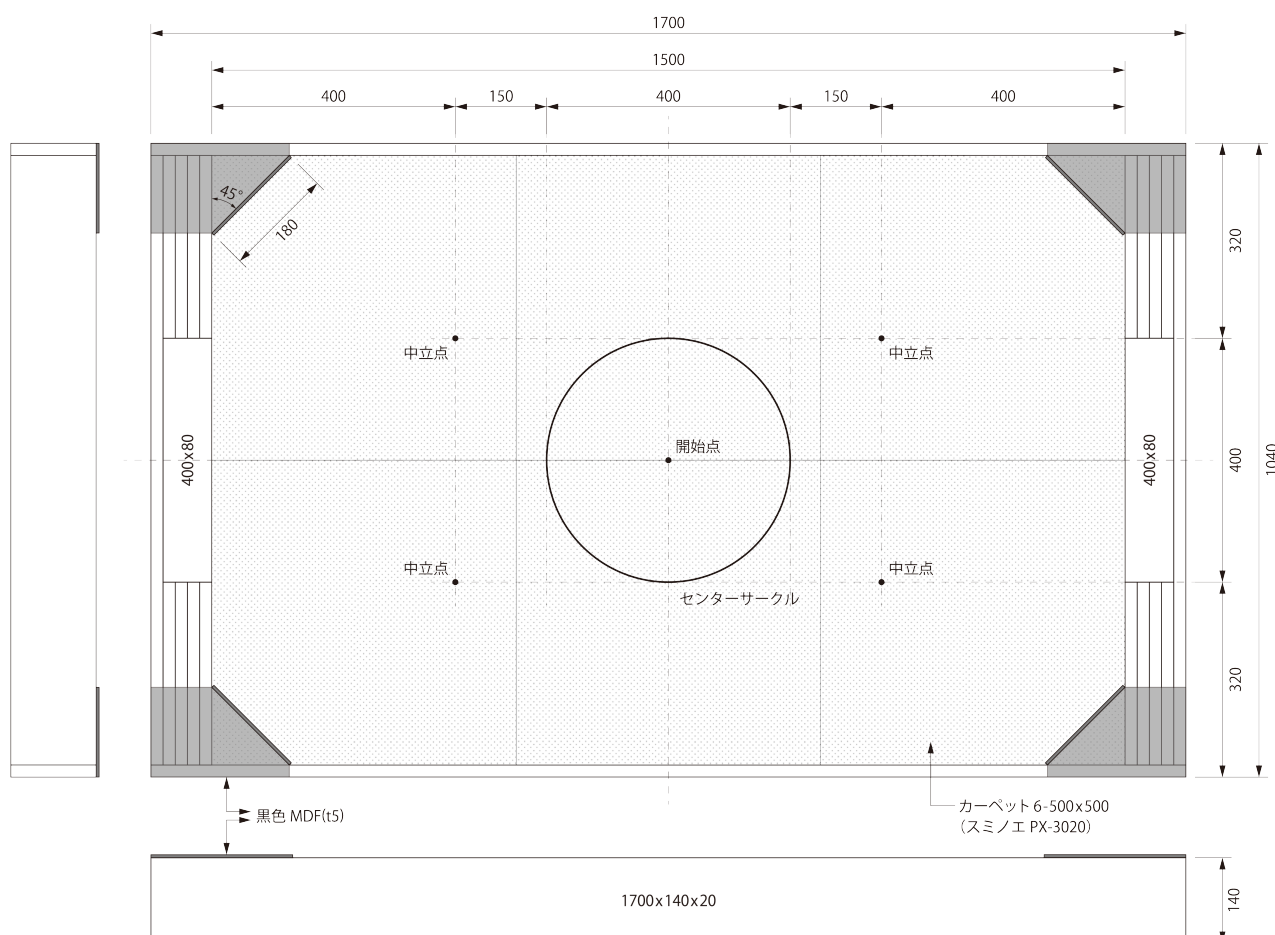
● 得点

1 ゴールにつき 1 得点(OWNゴールを含む)とし、競技時間内における累積得点により勝敗を決します。(ゴール内にはカーペットを敷いていないので、ボールがフィールド上のカーペットから落ちた時点でゴールとなります)

※対戦形式や対戦回数等については、当日大会事務局より発表します。

● フィールド詳細

サッカーフィールドは、板厚20mmのMDF(中密度繊維板)またはその他の適切な非磁性体の素材を組み合わせて制作されています。フィールド上にはカーペット500x500mm(スミノエ:PX-3020)を6枚使用しています。センターサークルおよび開始点、中立点は黒色の油性マジックで描いてあります。



LAST UPDATE ... 2025.07.17